



きね川日記

2023. 8. 10

8月号

きね川福祉作業所内の日々の出来事を毎月お伝えします。



年齢を重ねる毎に季節の移ろいが早く感じると聞いていましたが、本当ですね。ついこの間、利用者の皆さんと綺麗だねと眺めていた園庭の大島桜の樹は、今、数えきれない蝉軍団が大合唱。どうかアッと言う間に厳しい夏が去り、気が付けば過ごしやすい紅葉の秋になって欲しいと日々願っているのですが、7月に入ってからが長い！猛暑日が続いて記録更新中との事。そんな中、利用者さんは元気？に汗びっしょりで登所され作業に取り組まれています。お住まいやバス停から徒歩30分~の方も多くいらっしゃいます。登所時に「おはようございます」の後に殆どの方は「今日も暑いね」「喉が乾いた」等と続きます。不思議なもので「暖かくなりましたね」や「涼しくなりましたね」と挨拶されると相槌し「楽になりましたね」等と笑顔で交わし合うのですが、この時期の「今日も暑いですね」に「暑いです」「そうですね」と交わすと実感倍増で更に体温が上昇しそうです。おはようございますの後には、「作業室と麦茶を冷やしてあります。手洗いと消毒を済ませたら、作業までゆっくり休んで下さい。」とお応えしています。

(稲留)



休憩時間前に、皆さんに麦茶を提供しています。



ご希望の方には、アイスノンを使っていただいています。



各ご家庭でアイスリングを用意されている方もいらっしゃいます。